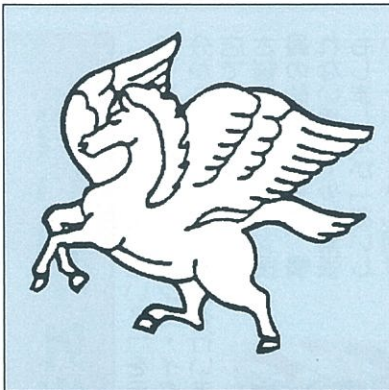




天馬

編集発行
社会福祉法人 福祥会
福 祥 苑
〒759-4103
山口県長門市深川湯本
☎ (0837) 22-6423
FAX (0837) 22-6437



平成二十八年十一月十七日、第二十八回山口県知的障がい福祉施設振興大会が、あけぼの園と当苑が中心で、二十年ぶりに長門市のルネッサナガトで開催となり、その実行委員長を当苑の中嶋苑長がつとめ、大盛況にて大会は閉会しました。当日は、六百名程度の山口県内各地の知的障がい施設関係者及び来賓の方々、家族会関係者等が集まり、「共に生きる社会の実現を目指して、みんなが違って、みんないい」という主題で、知的障がいがある方の地域における支援のあり方について研究討議し、これを実践に活かすことを通して、福祉の向上に寄与することを目的として開催いたしました。

知的障がい施設 福祉振興大会



平成二十八年九月九日、当苑は救急ステーションに認定されました。救急事案が発生した場合、消防への通報や、適切な救護措置、救急隊への支援・協力を行うことができます。



毎年行う総合避難訓練。平成二十八年度は小河内の消防団の方々と一緒に行いました。消防署職員より毛布や着衣している服を使用した担架の作り方や動けない方の抱え方などを教えて頂きました。災害がないのが一番ですが、いざという時に慌てないために訓練は不可欠な事でありです。

救急ステーション認定

「月日は百代の過客にして、行きかふ年もまた旅人なり。舟の上に生涯をうかべ、馬の口とらえて老いをむかふるものは、日々旅にして旅を栖（すみ）か」とす。「これは松尾芭蕉の奥の細道の序文であります。福祥苑も早いもので、この四月一日をもって三十周年を迎えました。初めは精神薄弱者更生施設といわれた施設でありましたが、様々な歴史を積み重ね、今は障害者支援施設という呼び名になり、現在に至っております。当苑の現在の大きな課題は二つあります。一つは利用者の高齢化に伴い施設が特養化しつつある事、もう一つは建物等の老朽化、施設設備の申請を県にしても補助金がつくのは、申請が約三十五件ある中で、一年に二件程度しか対応できていない現状であるという事。この課題はほかの障害者支援施設が抱えているものと同様と思われると思います。



苑長
中嶋成信

設立三十周年を 迎えて



栄養や季節や利用者の好みに応じて色々な給食が出ます。献立表が貼り出されるたび喜ぶ顔と声が見られます。食後には「美味しかった」「支援員さんも家で作りさんね。」と言われることも。美味しい食事、いつもありがとうございます。



季節の行事「節分」。お面を作りゲームをし、豆をまきました。楽しい雰囲気の中「鬼が来た〜」鬼めかけ豆をまき、鬼を追いかけます。「もう悪いことはしないね」と約束して一緒に歌い踊り楽しく過ごしました。

節分

職員紹介
新任職員
・川岡 進之助 支援員
・津田 篤史 支援員
・中山 佐知子 支援員
・木下 晃宏 事務兼支援員
これから、よろしくお願ひします。
退職職員
・山方 秋江 調理員
長い間、お世話になりました。



バンスボールを使ってドッジボールを行いました。各作業班の対抗戦を行い、どの作業班も負けまいとして頑張っていました。特に盛り上がったのは利用者職員との対抗戦で、職員にボールを当てようとしてヒートアップしてしまい、ボールを転がすルールがいつの間にか投げて当てるようになってしまいました。職員も本気で逃げなければなられてしまうので、スリル満点のゲームになり、とても楽しい時間になりました。体育館の掃除も協力して行いました。

苑外レクリエーション



大寧寺清掃



今年も大寧寺清掃に行きました。初詣や紅葉散策など同様の多い大寧寺。感謝の気持ちを含めてお掃除をさせて頂きました。

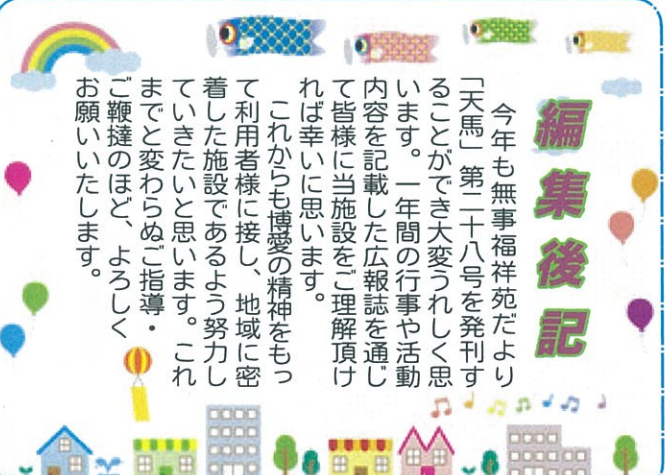
職員施設見学・職員研修

新しい設備の施設や、違った取り組みをされている施設、他施設職員との意見交換をしたりすることでとても刺激になります。新しい見識を取り入れながら、より良い支援が出来るようにしていきたいと思っています。また、年間を通して様々なテーマで施設内研修をしています。専門的な事からコミュニケーションを目的としたもの、各々が勉強したことを発表したりしていただきます。日々研鑽を重ね厚みのある支援をしていきたいと思っています。

古希祝い



川井務様・安光キヨ子様、古希おめでとうございます。これからも良く食べ、良く動いて楽しく笑顔の多い生活にしていきたいです。



今年も無事福祥苑だより「天馬」第二十八号を発刊することができ大変うれしく思います。一年間の行事や活動内容を記載した広報誌を通じて皆様に当施設をご理解頂ければ幸いです。これからも博愛の精神をもって利用者様に接し、地域に密着した施設であるよう努力していきたいと思ひます。これまでと変わらぬご指導・ご鞭撻のほど、よろしくお願い致します。

●募集内容
行事ボランティアを募集しています。個人・団体を問いません。利用者さんの前で趣味や特技を披露してみませんか？
●これまでのボランティア
フラダンス・クリスマスでサンタ扮装等



Seilaライフ
Seila(セーラ)さんのライブが六月に行われました。山陽方面で活動されている姉妹で、姉がボーカル、妹がギターをされています。お客様大好きな利用者ですが、どんな方かとドキドキ。優しい口調と綺麗な歌声でみんなあっとい間にSeilaさんのファンです。翌日、当日いなかった職員が来るのと笑顔でSeilaさんのことを話す姿が度々見られました。また、Seilaさんには、十二月にも再び来ていただきました。六月の感動を再びとばかりに利用者は大喜び。十二月という事でクリスマスソングも入った構成で一緒に演奏したり歌うことができて素敵なクリスマスプレゼントでした。



新年会
毎年恒例、大谷山荘での新年会が今年も一月十三日に開催されました。利用者の皆さんは会場での豪華な馳走を毎回頭に楽しんでいます。会食を楽しまれた後の余興は、カラオケ大会です。苑長をはじめとする審査員によって高評価だった一位と二位には記念品が贈呈され、お腹も心も満たされた一日になりました。



社会見学
今回の社会見学先はKRY山口放送。見学説明をして頂いたのが高橋良アナウンサーと徳田琴美アナウンサー。テレビで見る人の目の前にいて、しかも高橋アナがサッカーの実況中継をしていたいただきました。後、利用者が夕方よく見る熱血テレビのスタジオを見学。サイコロを実際に振ってみたい、モニターがたたくとある部屋や、ラジオブースも見学しました。テレビ局見学の後は徳山動物園へ、動物を見たりお土産を探したりとあっとい間に時間が過ぎました。



介護予防体操
利用者の平均年齢も上がってきました。いくつになっても色々な事をしたい、楽しみたい、健康な体が必要、です。介護福祉士会から講師をお迎えし介護予防体操を行いました。



買い物・外出

今回は「何が食べたい？」をテーマに寿司・とんかつ・バイキング・イタリアンに分かれての買い物・外食を行いました。お店ではメニューの豊富さ悩みながらも、支援員の助言をもらい、慣れない場所でも少し緊張もしましたが「おいしー!」がたくさん聞けました。



チャレンジ 陸上競技大会

山口市維新公園内の陸上競技場で、いろいろな障害を持たれた方が陸上競技で記録を競い合う大会に今年度も参加しました。3名の男性利用者がソフトボール投げにエントリーされ、磯部さんが33m78cm、岩瀬さんが16m23cmという結果でした。



ふれあいひろば

毎年恒例のふれあいひろばが今年も開催されました。雨が降ることもありましたがたくさんの方にご来場いただきありがとうございます。向陽小学校のマーチングバンドで始まり、長門ストリートダンス愛好会によるキッズダンスで会場は盛り上がり、オカリナ演奏では癒されました。清風太鼓では一緒に演奏をさせて頂きました。



クリスマス会

楽しい行事の一つ「クリスマス・忘年会」みんなで被り物をして楽しくパーティー。プレゼントも楽しみます。笑顔の一日でした。



自由外出

買い物・外食とは別に自由外出というものがあります。映画やボウリング、ドライブなど趣味を中心とした外出です。今回はドライブでは元乃隅稲成神社が人気でした。テレビ等で取り上げられることも多く、地元の魅力再発見です。

